

9. 特別予算枠による創造的研究

新潟県森林研究所

新潟県では、県試験研究機関がもつ高度で専門的な研究機能を活用して、産業界、大学、試験研究機関相互に連携を図りながら、地域経済の活性化や県民生活の向上に結びつく研究開発としての「創造的研究」を平成19年度から副知事予算枠の中で取り組んでいます。

これは、試験研究機関が地域や各産業等の課題を踏まえて提案する研究課題の中から、地域経済の活性化や県民生活の向上等に効果が高く、次の施策につながる研究課題を選定して研究開発を行うものです。

当森林研究所では平成19年度からこの創造的研究に応募してきましたが、平成20年度からの課題として「未利用木質資源による製品製造技術の開発」が採択され、現在研究を行っています。具体的には、スギ樹皮やキノコ廃菌床などの未利用木質資源の基本的性質を解明し、それらを原料にペレットなどを製造する過程で、どのような条件で平成19年度に示された「木質ペレット品質規格原案」に合った製品ができるかを検討しています。また、実際に燃焼機器で利用することによって発生する問題点などを明らかにしようとするものです。

この創造的研究では、企業・地域、大学との連携の一環として、ペレットとストーブ製造双方への取り組みを全国で最初に行った(有)さいかい産業と共に研究を進めることで、実際のプラントでの製造コストの検証やペレットストーブ利用者へのモニターも行う予定です。

また、以前からスギ樹皮によるペレット製造と利用に取り組んでいる埼玉県などから最新情報を提供頂き研究を進めております。



小型ペレット製造機によるペレット製造試験